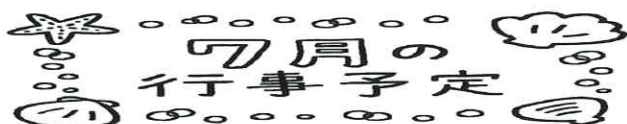


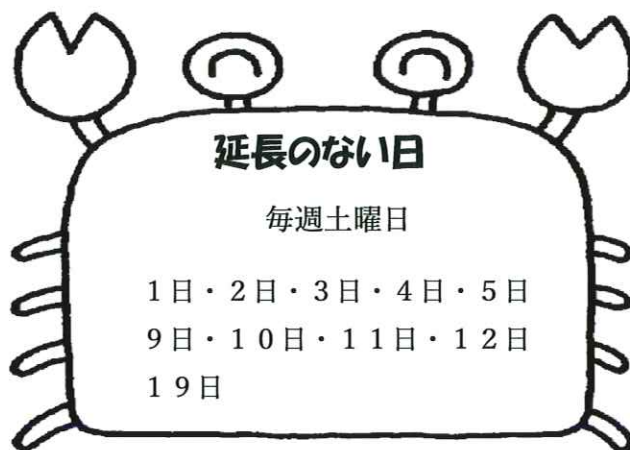


夜空に星がたくさん輝き、織姫と彦星が天の川を挟んで、1年に1度の再会を楽しみにしています。今年も晴れるでしょうか。

今月は、保護者参加の七夕縁日ごっこがあります。子どもたちはとても楽しみに準備をしていますよ。保護者の皆様、ご協力よろしくお願い致します。



- 7/1 (月) こぐまクラブ (3歳以上児)
- 7/2 (火) 歯科検診
- 7/3 (水) 劇団バク鑑賞 (3歳以上児)
コバト保育園へ行きます
- 7/6 (土) 七夕縁日ごっこ (保護者参加)
- 7/9 (火) キッズヨガ (3歳以上児)
- 7/11 (木) キッズサッカー (4.5歳児)
- 7/14 (日) 石川町会慰問 in 幸成園
(3歳以上児の希望者のみ)
- 7/19 (金) クラス誕生会
- 7/25~8/19 1号保育夏休み



6月25日内科検診がありました。新都市病院依田医師に診ていただきました。全員異常なしでした。次回は、10月に内科検診を行います。

「少し後ろから見守る」子育てで子どもは伸びる！

子育てに時間を割けないことに罪悪感を感じているおうちのかたが増えているようです。しかしたくさん子どもに働きかけた方が、働きかけが少ないおうちのかたより親子関係が良好とは限りません。例えば、お子さんが集中して遊んでいるときに、「こうした方がいい」「この遊びも楽しいよ」など、多くの横やりを入れられたお子さんはどうなるでしょう。せっかくの遊びが中断してしまったり、複数の課題をこなさなければいけなくなり、混乱してしまうかもしれません。

一方、ほとんど言葉かけはしないけど、子どものすることをそばで静かに見守ることが多い、というおうちのかたは、子どもが「見て！」などと反応を求めてきたときだけ「すごいね！」「すてきね」と関わった場合は、お子さんの遊びを邪魔することがないのです。おうちのかたが子どもの近くにいる遊びを見守り、子どもが求めてきたときに反応を示す、といった「少し後ろから見守る」関わりで、子どもの探究遊びを保証することができます。子育ては、濃く関わった時間が大切。1日5分や10分でもよいので、子どもの気持ちに敏感に気づいて反応してあげることをおすすめします。

子どもの様子を見てうまく反応すれば、お子さんは喜び、おうちのかたへの愛着や信頼感がいっそう深まるでしょう。そうすると、子育てもより楽しくなります。限られた時間で構いませんから、お子さんとの遊びを一緒に楽しんでみてください。

「Benesse・こどもちゃれんじ (井桁 容子先生のおはなし) 参照」